

1907. 4. 10  
(2) R



### 九州聯合共進會

## 縣下の出品

△本縣下の各水産物を本縣の手により直接に縣外に紹介することの利益は一には本縣の發展となり且つ其の直接の收益は縣民の利ともなり縣内産物の價値を維持する上に有利なるのみならず出品人各自の利よりは需費削減の趣好等を研究し且つ之れが改善進歩の一參考となると妙なからざるにあり

△今年十月より十二月に懸け長崎市に於て開設せらるべき關西九州聯合共進會には本縣下より出品の總點數は八百十六點に及ぶべき豫定なりとのとなりがこれに就き那新區役所に於て先日島尻部及び區内の實業家を集り賣店を叫びべきや否やを協議したること當時の新聞紙上記載の如くなるが聞く所によれば右賣店を叫ぶとに決定したる分今日迄の所は左の七名ありと云ふ

一、漆器賣店

安里成森、米次源吉

一、織物賣店

渡久地政湖、國吉真福

一、各會社側の賣店

系滿水産株式會社、沖繩帽子株式會社(那覇帽子會社) 沖繩貯藏食品株式會社、山の内阿良菜製帽會社

△右各會社及び各個人の賣店は編て共同的にして各個人別々に出店するにはあらずと云ふ從來の經驗殊に第五内閣博覽會に出店したる經驗によれば獨立の賣店は經費と收支相償ふこと難はず懲りくくの目に遭ひ居るが故に今回は成るべく共同にして出店し費用の如き各自共擔負出として一般の利益を謀ることにしては如何と 意見渡久地政湖氏より提出ありたるによも一同異議なく

之れに決したる次第なりと云ふ

△斯くて右出店の間口は一人は一間宛都合一列に七間間口となれども他に三間の餘地を存し都合十間間口を借り受けければ尚ほ三入は出店するとを得べしと云ふ而して出店に就ての條件は左の如し

- 一、品物の運搬費用は各自負擔
- 一、各賣店の看視及び買捌に就ては確實なる代人を撰定して之れに依頼すること而して賣店の持主は態々出張するの費用を節減し得て代理者には往復の旅費及び日當として一日金一圓を支拂ふこと
- 一、賣店に要する設備費用の割數其の他日當、被雇人賃、雜費等の半額を各賣店の間數割とし半額を賣店代金の按分比例

△大略の條件右の如し如斯くにして共同的賣店の設備に暨ひ此の有利なる共進會に縣の諸産物は陳列せられ販賣せらるることゝる時此の他會場に陳列せらるる本縣水産物上記八百餘點の内

那覇區よりの分 百五十點  
島尻縣の分 四百十七點

計りあるべき豫定なる由右の内注目すべき出品物としては

貝細工、貝入漆器、信天翁の羽毛(之れは尖閣列島中の産物) 海竹、海參、染料(豚の血又は芭蕉の漚にて製したる漁網の染料)、飛魚流網、純絹糸、釣鉤(鐵釣道具等もあり)、烏賊釣り具、刺舟の雛形(一切附屬品付) 飛魚の燻製、絲蠟燭甲、鰾油、鰾膏粉、延繩海底切断器、潜水眼鏡、視水器、桶小鏡、甲類、海松、海綿、蠶繭、明骨、鰻詰其の他海産物等なりと云ふ

△特種なる人文、氣候風土の許の製品及び海産物が多少の特色あるは云ふ迄もなす本縣の實業家は今後此の特異の産物を以て如何に其の販路を實益とを進むべきか比較研究若くは世間の批評を聞くにありとす共進會の出品の如きは此の機會を捉ふるに好適ならずや